

教科名 (科目名)	公民科 政治・経済	履修学年	3年	学科	普通・フロンティア科
		単位数 (週当たりの授業時数)		3	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論および政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	○定期考査 ○レポート	○定期考査 ○レポート・課題 ○討論・発表・まとめ	○定期考査 ○レポート・課題 ○討論・発表・まとめ

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】明解 歴史総合 (帝国書院)
【副教材】明解 歴史総合ノート (帝国書院)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書の内容を、準拠ノートを利用して進めます。その中で日本と世界の歴史のつながりを、教科書内の歴史年表や世界地図を活用することで理解が深まります。  
○授業では、歴史用語を確認するだけでなく、グループワークや調べ学習を通して、歴史的事象の背景や原因、結果や影響などに着目し、生徒がそれぞれ興味・関心に基づいて積極的に授業に参加することが望ましい。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	第1編現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 〔経済分野〕	○定期テスト	○レポート・課題  ○討論・発表 ・まとめ	○レポート ・課題  ○討論・発表 ・まとめ
	5月	第3節 市場経済の機能と限界 1 経済活動と市場			
	6月	2 経済主体と経済循環			
		3 国民経済の大きさと経済成長 4 物価と景気変動			
	7月	5 市場の失敗と公害・消費者問題 第4節 持続可能な財政および 1 財政のしくみと租税の意義			
2 学期	8月	第5節 金融を通じた 経済活動の活性化 1 金融のしくみとはたらき	○定期テスト	○レポート・発表 ・まとめ	○レポート ・課題  ○討論・発表 ・まとめ
	9月	第6節 経済活動と福祉の向上 1 日本経済の変化と中小企業 農業問題 2 労使関係と労働問題 3 社会保障制度と福祉のあり方			
	10月	第2編 グローバル化する国際社会の 諸課題			
	11月	第3節 相互依存関係が深まる 国際経済の特質 1 貿易の現状と意義 3 為替相場の変動			
	12月	4 国際協調と国際経済機関の役割			
3 学期	1月	共通テスト直前演習			
	2月				
	3月				